

●開館日／火曜日～日曜日（祝日も開館しています。）
●開館時間／午前10時～午後5時（正午から午後1時まででは閉館）

読まなくなった本ください!! (図鑑、全集、辞典を除く。漫画、雑誌はOK)

文化交流センター図書室へご持参願います。いただいた本は、11月8日(日)に開かれる「本のリサイクル市」で無料提供します。なお、余った本はこちらで処分させていただきます。

9月の新着図書を紹介します

ジャンル	図書名	著者・出版社	ジャンル	図書名	著者・出版社
一般書	◎同期	今野敏著／講談社	一般書	政治 差別と日本人 (角川 oneテーマ 21 新書)	野中広務・辛淑玉著／角川書店
	るり姉	椰月美智子著／双葉社		仏教 死んだらおしまいではなかった	大島祥明著／PHP研究所
	エッセイ ◎死ぬのによい日だ	日本エッセイスト・クラブ編／文藝春秋	児童書	幼年童話 ルルとララのおかしやさんシリーズ 既9巻	あんびるやすこ作・絵／岩崎書店
	産業 ◎HTBスキップ野菜のスズメ本 だれかに教えたいくなる北海道の野菜	HTB北海道テレビ／イエローページ		絵本 ぼくちんに、マツイ・ヒデキ!?	あさのみすみ作・飯野和好絵／学習研究社
芸術 ◎うちの3姉妹10	松本ぶりつつ著／主婦の友社		わらべうたえほん ととけっこよが あけた	こばやしえみこ案・ましませつこ絵／こぐま社	

PICK UP 新着の中から



同期

今野 敏 著

懲戒免職になった同期の公安刑事が、連続殺人の容疑者に。「教えてくれ。おまえはいったい何者なんだ」男たちの前に立ちはだかる最も高い壁—組織の論理。その壁を突破するのは、刑事たちの誇りと絆。現時点での集大成ともいえる最新警察小説。



死ぬのによい日だ

日本エッセイスト・クラブ 編

料理研究家の丸元淑生さんは、生きることの到達点として、死を肯定的に受容した—人生への感謝にあふれた父の最期を綴る表題作をはじめ、前年度の雑誌、新聞等に発表された55編の宝石のような短文。27冊目となる今年も、五木寛之氏、山田太一氏、児玉清氏、酒井順子氏、三浦しんり氏ら名手たち、そして元プロ野球選手・清原和博氏夫人ら新たな才能との出会いをお楽しみいただけます。



HTBスキップ野菜のスズメ本 だれかに教えたいくなる北海道の野菜

HTB北海道テレビ／イエローページ

スキップの「野菜のスズメ」が本になりました。ベジタブル&フルーツマイスターの資格を持つ佐藤麻美アナウンサーが、現地取材をした農家とその野菜を紹介。野菜の活用法、栄養価など、野菜ソムリエならではの視点による解説も掲載しています。他にも、野菜の美味しいレストランや青果店、野菜を使った加工品、直売所など秋のお出かけにも役立つ情報が満載！北海道の大地とそこに携わる人々が、愛情をこめて育んだおいしい野菜と上手に付き合う方法をお伝えします。



うちの3姉妹 10

松本ぶりつつ 著

おかげさまで、10巻という節目を迎えることができました。ほんとうにありがとうございます！今回の書き下ろしはチーが産まれた頃の話。巻頭ではお悩み相談やってます！ぜひ読んでみてくださいね。

社会教育だよりの記事に対する申込み・問い合わせ
文化交流センター (TEL 56-9500) 海洋センター (TEL/FAX 59-1216)